

<b>授業科目名</b>	基礎看護技術演習 (2300304)		
<b>時間割名</b>	基礎看護技術演習 (21205)		
<b>時間割担当</b>	中馬成子 北島洋子 林文子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	1 必修
<b>曜日・時限</b>	火・1		

### 授業の目標・概要

基礎的な看護ケアについて、座学と学内演習を組み合わせ学習することにより、科学的根拠に基づいた思考力を伴った技術が展開できる能力を養う。また、臨床を模した学習環境に身を置くことにより、看護学を学習するにあたり必要な主体的な学習姿勢と態度を身につける

### 学習の到達目標

基礎的な看護ケアについて、座学と学内演習を組み合わせ学習することにより、科学的根拠に基づいた思考力を伴った技術が展開できる能力を養う。また、臨床を模した学習環境に身を置くことにより、看護学を学習するにあたり必要な主体的な学習姿勢と態度を身につける

### 授業方法・形式

講義と演習

### 授業計画

- 第1回 酸素化を促す技術（講義）
- 第2回 酸素化を促す技術（演習）
- 第3回 酸素化を促す技術（演習）
- 第4回 診療に伴う技術：血液検体の取り扱い、注射器の取り扱い（講義）
- 第5回 診療に伴う技術：採血法（講義）
- 第6回 診療に伴う技術：採血法（演習）
- 第7回 診療に伴う技術：採血法（演習）
- 第8回 診療に伴う技術：薬物療法（講義）
- 第9回 診療に伴う技術：与薬（講義）
- 第10回 診療に伴う技術：注射法（演習）
- 第11回 診療に伴う技術：注射法（演習）
- 第12回 診療に伴う技術：注射法（演習）
- 第13回 診療に伴う技術：注射法（演習）
- 第14回 診療に伴う技術：注射法（演習）
- 第15回 診療に伴う技術：注射法（演習）

### 成績評価の基準

定期試験（筆記・実技試験）50％，課題レポート30％，学習態度（取り組みの積極性・グループワークへの参加度）20％

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

技術とは知識、技能、態度の3つから構成されると言われ、この3つを統合していくことは大変重要です。また各単元は、密接に関連しており、学習の積み重ねが到達度を高めることとなりますので、欠席しないで、積極的に、かつ自主的に自己学習を反復、発展させ学習に取り組んでください。

### 履修上のアドバイス及び留意点

常に対象者に対する安全、安楽を考え技術を習得する。  
技術の根拠を講義で理解し、演習に臨む。

### 教材・教科書

テキスト

1. 茂野香おる:系統看護学講座、基礎看護技術，第16版，医学書院，2015.
2. 茂野香おる:系統看護学講座、基礎看護技術，第17版，医学書院，2017.

### 参考書

参考書については講義の中で適宜紹介する。